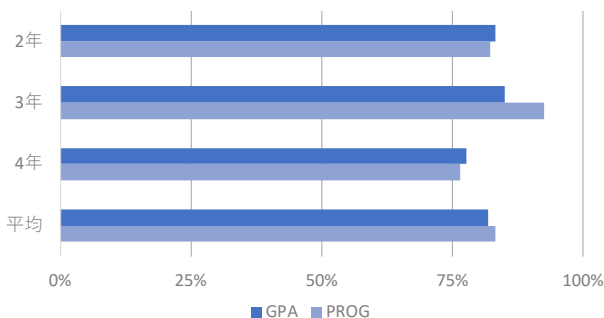


2017年度後期のAct（振り返り）とPlan（計画）の実施状況

A(振り返り)とP(計画)ができた学生の割合は約80%

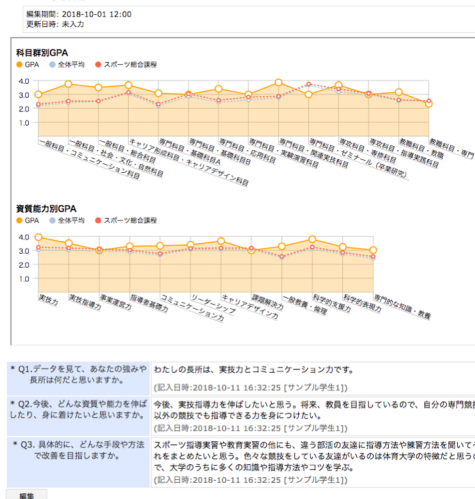


本年4-6月に、2017年度のGPAとPROGテストの結果について振り返りを学生の皆さんに実施してもらいました(1年生はデータがないため未実施)。その結果、80%以上の学生が自分自身の学修状況を振り返り、目標・計画を立てることができました。一方、約20%の学生が未入力となりました。成績をみるだけでなく、もう一歩踏み込んで考えてみましょう。新しい気づきを得るチャンスです。

WebClassに新 NIFS pass の紹介

～WebClass内でGPAやPROGのC(評価)が見れてA(振り返り)とP(計画)ができるように♪～

2018年前期



本年10月からWebClassにログイン後の画面左上に「NIFS pass:私の学び・成長・挑戦の足跡」という表示がされるようになります。まずは「GPA」と「PROG」の結果を見ることができ、振り返りや次の計画を記入できるようになっています(今回はサンプルを表示しています)。過去の学修成果や振り返りも閲覧することもできるようになります。記入は、半期ごとを予定しています。毎回、学修成果を見て、自分で振り返りを行うことで、より充実した大学生活を送れるようになってください。

<発行>
鹿屋体育大学 教育企画・評価室

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
大学院棟1階
TEL&FAX: 0994-46-5082
E-MAIL: kyommu-ap@nifs-k.ac.jp

<企画・編集>
濱中 良・近藤亮介・岡田あゆみ・金高宏文



発行: 鹿屋体育大学 教育企画・評価室

NIFS-AP News

2018.10
VOL. 4

- p.1 教員からのメッセージ
- p.2-3 学修のPDCAサイクル
- p.4 新NIFSpassの紹介

教員から体育大生へのメッセージ

根拠を持ってスポーツを実践できる、人と人を繋ぐ人材を期待して



スポーツ生命科学系
中垣内 真樹 教授

研究キーワード
ヘルスプロモーション・
介護予防・運動習慣化

ヘルスプロモーション関連の研究、授業を担当しているスポーツ生命科学系の中垣内真樹(なかがうち まさき)です。体育・スポーツ・武道とヘルスプロモーション(健康づくり)はかけ離れていると感じている人も多いかと思いますが、私自身は、スポーツ(競技)の実践、体育系の大学で学んできた知識が現在のヘルスプロモーションに関する仕事(研究・教育・地域貢献)に強く結びついていると実感しています。

自身を振り返り、目標を設定して、それを確実に実践していく、それが正しかったかを再度振り返る。このような作業を皆さんはスポーツに取り組む中で繰り返していると思います。その作業そのものやそれを進めるための考え方はどの分野(体育・スポーツ・武道・健康づくり)でも活かされるはず。またこの作業を、根拠を持って実践していくためには多くの学び(知識)が必要です。鹿屋体育大学ではスポーツの実践はもちろんのこと、多くの事を学びえる環境が整っています。スポーツの実践のみならず、体育・スポーツ・武道・健康づくりに関しての知識を得て、将来、体育・スポーツ・武道・健康づくりをけん引する存在になってほしいと期待しています。

最後に、スポーツには不思議なチカラがあります。日頃交流のない人たちでも一緒にスポーツ活動を行った後には、親密感や仲間意識を持つことができます。そのような人間関係(人や地域)の繋がりの誕生は、地域コミュニティの復活など地域活性化にも繋がっていくでしょう。皆さんは人と人を繋ぐリーダーにもなり得るのです。

ワクワクしながら課題と向き合ってください

学生の皆さん、こんにちは。バレーボールの授業を担当している坂中美郷です。

本学が掲げている「卒業までに身につけるべき12の資質・能力」の中に、「課題解決力」があります。これは、「本質的な問題を発見し、解決策を考え、計画し、それを実行、成果がでるまでPDCAサイクルを円滑に回し、課題解決に向けた取り組みを実施できる資質・能力」のことです。本学の学生は、とくに各部活動において、この「課題解決力」を身につける経験をたくさんしてきていると思います。目標達成に向けて一生懸命取り組んでいるからこそ出来る経験であり、皆さんの大きな強みであると感じています。これからも、困難な課題にぶつかることや、思い通りにいかないことが多々あるかと思いますが、自分を成長させる時だと思って、ワクワクしながら課題と向き合ってください。

もし今、夢や目標を見つけれないという場合は、「今」を一生懸命に取り組んでみてください。授業や研究、部活動、就職活動など、目の前のことに一生懸命取り組むことで、新たな道が開けることもあれば、壁にぶつかる場面も出てくるでしょう。壁にぶつかったら、解決できるようにまた一生懸命取り組んでみてください。そうして得られる一つ一つの経験が、社会に出た時にきつと役立ちます。

教職員は皆さんの活動を全力でサポートします。より良い学生生活になることを期待しています。



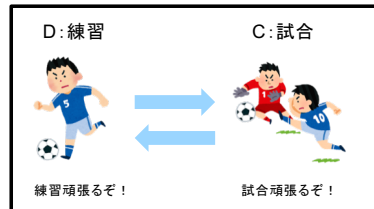
スポーツ・武道実践科学系
坂中 美郷 講師

研究キーワード
バレーボール・コーチング・
パフォーマンス

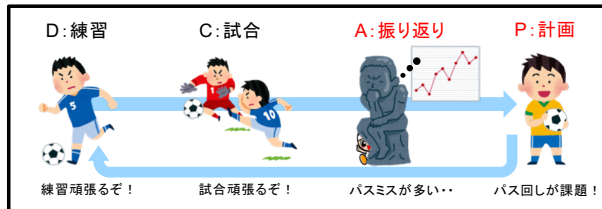
学び・成長を加速させるポイントはAとP!?

Question: あなたの部活動のサイクルはどっち?

とにかく練習あるのみ! ふんふんタイプ!



練習も振り返りもバッチリ! スマートタイプ!



皆さんの日頃の部活動での取り組みは、どっちのタイプでしょうか。練習(Do)と試合(Check)ばかりの「ふんふんタイプ」の学生は、振り返り(Act)と計画(Plan)の習慣を身につけることで成長が加速します。そして、目標に向かってPDCAサイクルを何回も回していきましょう。うまくいかない人は、うまくいっている人の考え方や行動を聞いてみるのもいいですね。

Question: あなたの学びのサイクルはどっち?

では、大学の学びにおいてはどうか。右図の中の学修(Do)とテスト(Check)だけになっていませんか? 大学での目標をはっきりとしている人は、振り返りと計画作りで、着実に目標に近づいていきましょう。

学修での目標や将来やりたいことがない、という人は、前ページの坂中先生のメッセージのように「今」を一生懸命取り組みPDCAサイクルを回してみましょう。継続することで、本学の目標である「スポーツ・武道・体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性・国際性を備えたリーダー」になれるはずです。

PDCAのサイクルは社会に出てからも大切な習慣なので、特に忘れがちなAとPを今のうちに身につけてください。

A: 振り返り、改善案の検討(Act)

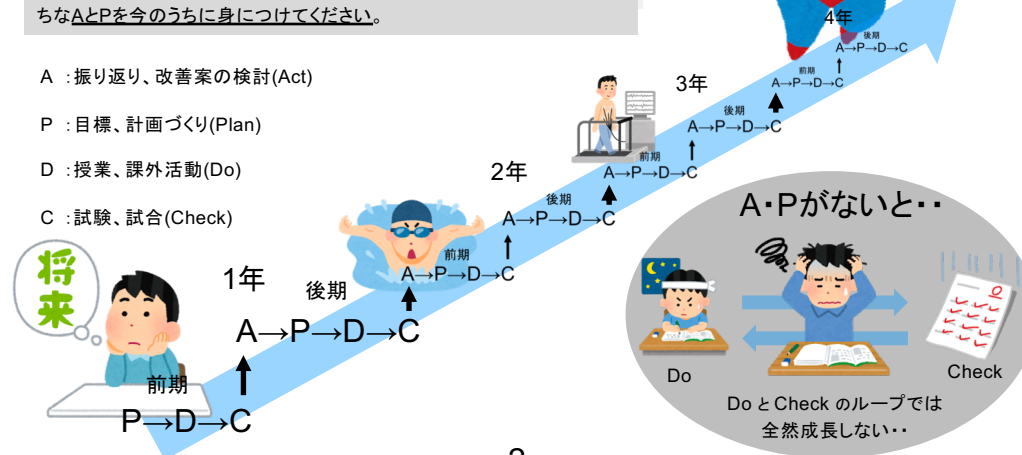
P: 目標、計画づくり(Plan)

D: 授業、課外活動(Do)

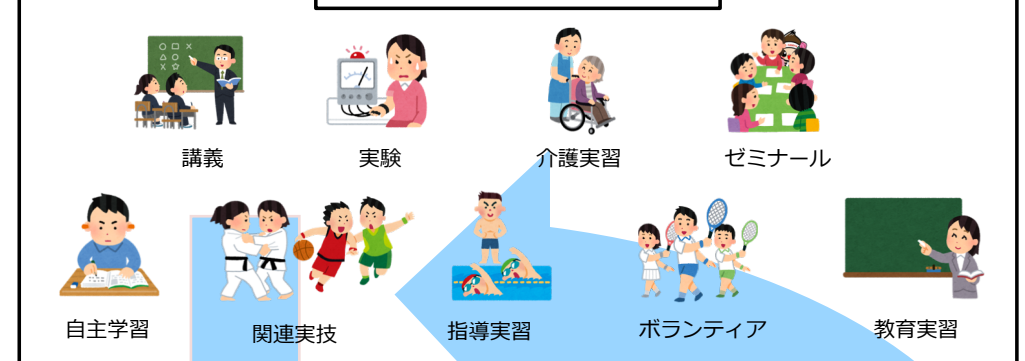
C: 試験、試合(Check)



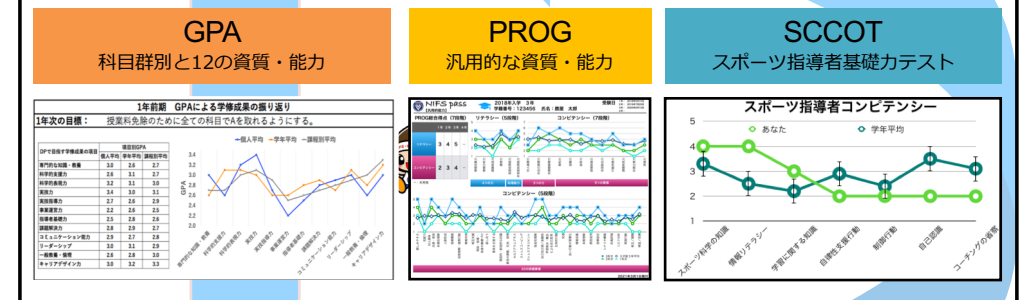
スポーツ・武道・体育・健康づくりにおける
実践的かつ創造的で市民性・国際性を備えたリーダー



Do: 大学での様々な学び



Check: 試験・テスト



Act: 振り返り

Q1: データを見てあなたの強みはなんだと思いますか?



Plan: 目標・計画作り

Q2: どんな資質や能力を伸ばしたいと思いますか?
Q3: 具体的にどんな手段や方法で改善を目指しますか?



Act(振り返り)とPlan(目標・計画作り)が重要!

10月よりAとPはWebClass内でできるようになります!
次ページにGO!!